

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0171000227		
法人名	社会福祉法人 北叡会 あるての杜 グループホームひまわりの郷		
事業所名	グループホームひまわりの郷 (ぬくぬく)		
所在地	江別市上江別西町13-3		
自己評価作成日	平成29年3月3日	評価結果市町村受理日	平成29年4月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2016.022_kani=true&JigyosyoCd=0191000181-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

長年住み慣れた地域で、家庭的な雰囲気の中、利用者が主体的に自己決定を行い、目的などを持って安全に暮らして頂けるよう支援に努めている。住宅地の中にあることから、地域の方々との繋がりを大切に行事に参加し又運営推進会議や施設行事に参加して頂くことで信頼関係を築けるよう努めている。医療面においては、提携医療機関との密な情報交換、定期検査に加え週一回の訪問看護実施することにより、体調不良時の相談や速やかな受診対応が出来る体制が整っている。日ごろよりミーティング、カンファレンスや研修を通して職員のスキル向上を行い、ご利用者やご家族、外部の方に満足して頂けるようと務めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームひまわりの郷」は、JR江別駅から徒歩で10分程の静かな住宅地に立地している。近隣には上江別南町公園など2カ所の公園があり、利用者が散歩で訪れて地域の子供たちと触れ合う機会もある。大きな窓に面した居間や食堂は、明るい光が注ぎ、落ち着いて過ごせる居心地のよい空間になっている。毎月のカレンダーや立体的な季節の装飾を利用者と一緒に制作しており、家庭的な温かさが感じられる。日常的な活動補助や傾聴ボランティアを定期的に受け入れると共に、今後は地域の「高齢者ふれあいの会」への参加を予定するなど積極的に地域交流に取り組んでいる。母体法人が協力医として健康管理を行っており、医療面でも充実している事業所である。介護度が重い利用者も多くなり、全員での外出が困難になっているが、一人ひとりのペースを大切にしながら本人の意向に沿って買い物やドライブ、外食など個別支援で細やかに対応している。排泄面では、個々の排泄状況を全職員で把握して検討しながら、おむつやパッドを可能な限り使用しないで自立に向けて積極的に取り組んでいる。職員は、常に優しく温かな声かけや対応をしており、利用者は明るい笑顔で穏やかに過ごしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある			○	3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ぬくぬく)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域環境において、家庭的な雰囲気の中でゆったりと穏やかな時間を大切にするという理念を掲げている。職員は、常に理念にそってご利用者に接するよう努めている。ミーティングやカンファレンスにて、個々のサービスの振り返りを行う時間を設けている。	「私達は、ご家族や地域のふれあいを大切にします」という、地域密着型サービスの内容を含む2項目のケア理念を作成して、職員のネームプレートの裏にも記載している。勤務前などに確認することで、職員の理念に対する理解は深められている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の参加(回覧板、資源回収)などを始め、地域との繋がりを大切にしている。運営推進会議やボランティアの受け入れを通して、地域の方にも参加して頂き、地域との交流や意見交換の機会を設けている。また、火災発生時等の際に地域の方にも協力依頼ができる体制を設けている。	琴演奏やフラダンス、活動補助や傾聴ボランティアなどが訪れている。ハロウィンに子供たちが来訪したり、法人の夏祭り、公園への散歩の機会に小さな子供たちと触れ合っている。今後は、地域の高齢者ふれあいの会に参加したいと考えている。	
3	3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や面会時等を利用し、ご家族や地域の方々へ認知症への取り組みを報告しご意見を頂くよう努めており又、認知症への理解を深められるよう、利用者の状態、対応方法などをお伝えしている。年に一回、江別市のグループホームが共同で主催する、地域の方向けの「認知症講座」開催に携わることで認知症への理解や支援について啓発活動を行い、今年度も多くの方が参加されている。		
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日頃の運営状況や発生した事故・その後の対応策、日常の様子などをスライドでご紹介、毎回ご報告させて頂きサービスの向上につなげていけるよう努めている。また、運営推進会議開催日に避難訓練や行事等を行い、参加して頂くことで様子を知って頂けるよう努めている。	介護基礎知識や嚥下・誤飲などをテーマに開催している。会議案内と議事録、資料を全家族に送付しているが、家族の参加は少なくなっている。今後は、更に議事録を充実させると共に、参加できない家族の意見も会議に活かしたいと考えている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月、空き状況・入居者状況を書面にて直接持参しており、運営推進会議開催後は報告書を持参し、当グループホームを理解して頂くことにより、報告・連絡・相談をしやすい関係作りに努めている。	係長は、状況報告などの書類を毎月市役所に持参したり、介護保険の更新や利用者の住所変更手続きなどで訪れている。市内のグループホームが共同で開催する、認知症講座の話し合いで包括支援センターに出かけている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行なわれていないが、外部、内部研修に参加し、身体拘束の定義を理解し、ミーティング内での勉強会を行い、職員全員で身体拘束につながっていく恐れはないかどうか、話し合っている。又、職員全員が気兼ねなく意見や疑問を言える環境を整えていく。	「禁止の対象となる具体的な行為」を記載したマニュアルを整備し、外部研修の受講者を中心に勉強会を実施している。不適切な声かけや対応があれば、その都度注意を促している。居室でセンサーを使用することもあるが、必要性について常に職員間で検討している。	

グループホーム ひまわりの郷

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(めくめく)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部、内部研修の他、カンファレンス・ミーティング内において、虐待や不適切なケア(発言や行動)に繋がらない為の話し合いを設け理解を深めている。身体的な虐待は勿論の事、接遇や介助方法などの振り返り、検討を行い、虐待に繋がらないように心掛けている。		

グループホーム ひまわりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ぬくぬく)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部での研修に参加する機会はなかったが、制度をご利用されているご利用者様もあり、ミーティングにて権利擁護に関する勉強会を開催して理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結・解約時は十分な話し合いを行える時間を設けるよう心掛け、不安や疑問を解消できるように努めている。入居中に不明な点や、わからない事があった際には、その都度説明させて頂き、理解・納得して頂けるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、面会時や家族アンケートの実施を行い、家族の思い、意見をお聞きしている。寄せられた意見に対しては速やかに臨時のミーティングを開催し、検討させて頂く。又、自部署のみならず法人として対応を検討していく体制を整えている。	家族が来訪した時は、ゆっくり時間を取って利用者の様子を伝えながら事務所などで意見や要望を聞き取るようにしている。家族からの意見や要望は申し送りノートに記入することもあるが、口頭で伝えることが多い。	職員間で情報共有できるように、家族からの些細な意見や要望、職員の気付きなどを個別に記録するよう期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員とのコミュニケーションを大切し、いつでも意見や質問ができるよう環境作りに努めている。又、ミーティング等を通して、職員から意見、提案を聞き、反映していけるよう努めている。	ミーティングや日々の業務の中で、職員の意見や提案を聞いている。職員からの提案で、日誌類の記録が重複しないような書式を現在検討している。職員は係を担当しながら運営に携わっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員1人1人が、目標を持ち取り組んでいく為に、ストレスや不安を軽減できるよう、個別面談を定期的に行っている。また処遇改善等を行い、職員へ反映することで仕事への意欲向上を図っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々のスキルに見合った外部研修の参加を勧めている。また、参加した研修内容については、ミーティングにて報告する事で職員全体におけるケアの質の向上に努めている。内部研修や法人の研修会に多くの職員が参加しやすい環境を整えスキル向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内グループホームとの交流会を通じて、意見交流や情報交換を行える機会を設けている。また、月に1回市内の各グループホームの管理者が集まる会に参加し、他施設への相談、情報交換の機会を設けサービス向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ぬくぬく)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に関係機関や他施設の情報を確認し、ご本人に出来るだけホームへお越し頂き、思いや要望を聞かせて頂くとともに十分なご説明により、安心して頂けるように努めている。また、入院の状態により、お越し頂けない場合は、こちらから面談に行かせて頂くことで、安心してグループホームでの生活が出来る様に支援を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談の時点から不安、要望や思い等をお聞きし安心して入居できるよう努めているが、入居後においてもご家族の利用に対する思いをお話して頂ける様、面談等にて働きかけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受ける時には、ご家族やご本人、関係機関からの情報を総合的に判断し、緊急性やサービスの必要性を見極めている。サービス利用の際、本人や家族の思いに考慮し、利用に対する気持ちのずれが生じないよう確認している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は理念に基づき利用者本位を第一とし、ご本人の思いを大切に日常的な場面から、それぞれ得意なことや出来ることを行って頂けるように利用者の意見を大切に、共に生活することを念頭におき、ケアを行っている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話連絡時において、ご利用者の状況をご説明させて頂き、ご利用者の生活について一緒に考えて頂いている。また、誕生会の参加、外出や外泊ができるようお声を掛けさせて頂き、家族との絆を大切に出来る為の必要な支援を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	普段の暮らしの中において、楽しく過ごされた過去のお話しに合わせ接するように努めている。ご本人やご家族からの希望があった際には、外出等が行えるよう支援している。また、知人等が訪ねて来られた際には、ゆっくりと過ごして頂く事ができるよう、お茶やお菓子を出すなどして、ゆっくりできるよう、配慮している。	近所に住んでいた友人が訪ねて来たり、教会の牧師が毎月来訪する利用者もいる。職員と一緒に自宅を見に行ったり、馴染みの店に買い物に出かけている。喫茶店にコーヒーを飲みに行く方もある。家族一緒に、墓参りに出かけた利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	平均介護度も高く、認知力も低下していることから、率先して職員が仲介をしながら利用者同士が関わり合えるよう努めている。また、ご利用者の能力や特技を生かしながら関わり合えるような支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(めくめく)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了が決まった時点より不安や心配事については、いつでも相談して頂けるようお声をおかけしたり、いつでも連絡して頂ける体制を整えている。また、関係機関との連携体制も整えている。医療機関等と連携を図りながら、今後のサービス利用についての相談に応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活履歴を把握した上で、ご本人との会話や表情等の中から希望や意見を汲みとれるように努めている。また、カンファレンスや日常の生活を通して職員間で情報を共有している。意思疎通が困難な方に関しては、ご家族から情報提供を頂き、その人らしい暮らしを行えるように努めている。	会話から殆ど把握することができるが、表情や口調などから読み取ることもある。新しい入居者は傍に寄り添いながら話をし、思いや意向が言えるように配慮している。利用開始時にフェイスシートを作成しているが、更新は行われていない。	フェイスシートを活用して趣味や嗜好などの変化も随時追記しながら、1年毎に書類を更新するよう期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人とのコミュニケーションから聞き取ったり、アセスメントを通してご家族から生活歴を聞く事や、年次別の生活歴の用紙を書いて頂き、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態を把握し、一人ひとりに合った活動や一日の過ごし方等について、ミーティング、カンファレンス等の場で話し合い、有意義な過ごし方をチームケアとして取り組んでいけるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の暮らしぶりや、ご利用者との関わりから要望を聞き出せるよう努め、ミーティングやカンファレンス等、話し合いを行い介護計画を作成している。また、意思疎通が困難な方に関しては、面会時にご家族にご意見やご要望を聞かせて頂き、介護計画へ反映している。状況に応じて、随時介護計画を見直し本人に合った支援を行うよう努めている。	利用者担当職員を中心に評価を行い、家族の意向を聞き取りながら3ヵ月ごとに介護計画を作成している。介護計画は、本人に分かりやすく説明することもある。日々の「生活記録」の書式について、現在見直しを進めている。	利用者の様子や変化を更に分かりやすく記録できるような書式を検討し、記録方法も工夫するよう期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録にて、介護計画に基づいたケアプランの実施やその反応を記載し、職員間で情報の共有を図り今後のより良いケアへと繋げている。状況に応じて、ミーティングやカンファレンスを開催し介護計画の見直し、変更を行えるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者の心身状態に合わせた個別ケアについて、ミーティングやカンファレンス時において、話し合う時間を設け、柔軟に対応できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の交流やボランティアの方々の訪問など外部の方との交流を行うことや、個別外出などを行い、なじみの地域との繋がりを持ち続けられるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人の意向を尊重し、かかりつけ医の受診を継続できるよう努めている。また、協力医療機関には、日頃からご利用者の情報提供を行うことで適切な医療を受けることが出来ている。	専門医はかかりつけ医を継続しているが、内科は全員が協力医を受診している。家族と受診する時は口頭で様子を伝えている。受診状況は、「受診記録」に個別に記録している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(めくめく)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の訪問看護師との連携、連絡体制が整っていることから、安定した健康管理が行えている。また、ご利用者の情報を密に伝え、適切な助言を頂いている。緊急時に備えた環境を整備している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に介護添書を作成し、入院先の医療機関と緊密な連携をとっている。入院中の状態確認を定期的に行い、状態把握に努め、病状説明の際は、ご家族と共に同席させて頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族には入所の事前説明の際に重度化に関する対応指針についての説明を行っており、理解して頂けるよう努めている。体調や状態に変化があった際には、ご家族へ連絡、説明を行い、医療機関と連携して対応している。	「重度化に関する対応指針」に沿って利用開始時に看取り介護の視点などについても説明している。常時医療行為が必要になった場合は、事業所での対応が難しいことを伝えている。看取りも可能であるが、現在希望している方はいない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時には、連絡体制を整えており、周知している。また、AEDの使用方法など含め緊急対応等の学習会を行い、全職員が急変時の対応を行えるように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中想定避難訓練は行っている。夜間想定訓練が感染症の発生により計画を実施できていないが、避難経路や連絡体制、災害時の対応方法等を全職員で確認している。また、地域の方にも参加して頂くようお声を掛けて頂いている。今年度は地震からの火災発生時の避難訓練を実施した。	消防署の協力を得て、地震からの火災を想定して12月に避難訓練を実施している。昨年度は地域住民も参加しているが、今年度は参加していない。地域住民と役割分担を確認し、地震時の支援別の対応について職員間で確認したいと考えている。	地域住民の参加も得ながら、年2回避難訓練を実施するよう期待したい。避難訓練の実施状況と結果が書面で確認できるように、書類を整備するよう期待したい。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員同士声を掛け合い、ご利用者に対しての言葉遣いやマナー、声の大きさやトーンを注意し合えるよう努めている。また、接遇マナー研修を開催し、職員全員がご利用者それぞれの、その人らしい暮らしができるよう、支援している。	採用時のオリエンテーションで、尊厳を重視した見守りや個別に応じた声かけを指導している。利用者の私的なことは居室で話している。記録類は目につかない場所で記入し、棚で保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	全職員が利用者本位の姿勢をとり、ご利用者の根本にある気持ちを聞き出せるよう努め、自己決定を優先している。また、意思決定が困難な方に関しても、出来る限り選択できるよう、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の行いたい事をその都度お聞きし、話し合いながら可能な限り、実現できるように努めている。また、一人ひとりのペースを守る事を理念として取り組んでいる。職員間で情報の共有を行うことで全職員がご利用者の希望に沿った支援を行えるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご持参された化粧品等に関しては、日常生活で使用できるように援助している。身だしなみについては、できるだけご本人に行って頂けるよう援助している。訪問理美容を利用し、その方の希望に沿った形での援助を行っている。		

グループホーム ひまわりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ぬくぬく)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る限り、ご利用者にも調理活動を行って頂けるよう支援している。誕生会の際には、ご本人の食べたい物、好きな料理を出来る限り提供している。	事業所で汁物とご飯を準備し、食材は業者から搬入される加熱調理した食品を再加熱して提供している。誕生日には利用者の食べたいものに変更したり、個別支援で回転寿司に出かけることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の作成したメニューが提供されており、栄養バランスは保たれている。肉禁、麺禁など要望に合わせ選択することが可能となっていることからご本人のお好きな食事メニューを提供できる環境となっている。食事量や水分量を記録することで利用者にあった栄養量、水分量の管理を行っている。必要であれば管理栄養士や医療機関と連携を行える体制を整えている。また、季節に合った果物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行って頂けるよう、声かけしている。できる限りご本人に行って頂き、最終確認をさせて頂いている。義歯を使用している方は、夜間帯にできる限り漬け置き洗浄をさせて頂いている。口腔ケアを行うことにより誤嚥性肺炎の予防にも努めている。月に2回、訪問歯科を利用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	基本ケア(水分、運動、食事)を徹底することで、トイレでの排泄ができるよう支援している。又、可能な限り日中はおむつを使用せずトイレでの排泄ができるようすることでご利用者の人格の尊重とプライバシーの確保ができるよう努めている。	尿意を感じてトイレに行ける方もいるが、全員の水分摂取量と排泄の記録を付けている。利用者が現状より楽に過ごせるように、リハビリパンツが本当に必要か個別に検討し、パッドだけで過ごせるように改善しながら支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量を確保できるよう支援すると共に、便秘傾向の方に関しては、歩行等の運動を行う機会を持てるよう支援することで出来るだけ下剤に頼らない基本ケア(水分、運動、食事)を展開している。また、日常的に乳製品やオリゴ糖などの排便を誘発するものを提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望に沿い、入浴表を作成しているが、その日の体調やご本人の希望により、曜日や時間帯の変更を行うなど、柔軟な対応に努めている。入浴が困難な場合には、清拭や足浴を行って頂き、身体の清潔を保つことに努めている。最低でも週2回の入浴ができるよう努める。	毎日、午前や午後に当日の予定や利用者の希望に沿って、1人平均週2回入浴支援をしている。同性介助も対応している。好みの湯加減で、柚子やラベンダーなどの入浴剤を使って職員と会話をしながら気持ちよく入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調やご希望に合わせて、休息時間を設けられるよう、対応している。また、夜間帯においては、居室の明るさや騒音、温度等にも配慮し、安眠できるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の内容や用法、用量、副作用が明記された用紙をファイルに綴じ、全職員が確認できるようにしている。また、状態が変化した際は、訪問看護師へ相談をし調整を行い、早期受診できるよう医療機関との連携に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	運動や歌という共通の要素を核とし、ご利用者ごとの生活歴(職歴・趣味など)を基に役割作りに努めている。		

グループホーム ひまわりの郷

自己評価	外部評価	項目	自己評価(ぬくぬく)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に合わせ、桜や紅葉等を見に行けるよう計画を立て、外出を支援している。また、希望時には買い物や散歩を行えるよう支援に努めている。運営推進会議においても、希望や助言を頂くよう努めている。また、個別外出の計画もあり、ご本人様・ご家族様のご希望に沿う行事も計画している。可能なご家族には、できる限り外出ができるよう、声を掛けさせて頂いている。	暖かな日は、車椅子の方も一緒に近隣の公園に散歩に出かけている。ベランダに椅子とテーブルを用意し、お茶を飲みながら日光浴をしている。介護度が重い利用者もいるため全員での外出が困難になっているが、個別の外出で自宅を見に行ったり、数名で買い物や紅葉見学に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	行事の際や買い物活動の際に関しては、ご家族やご本人の希望がある際は、お小遣いを所持できるよう環境を整えているが使用していけるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望がある際は、ご家族にも確認のうえ、電話や手紙でのやりとりができるよう、支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	運営推進会議やアンケートなどでご家族からも意見を頂き、検討する様努めている。また、装飾に関しては、季節感のあるものをご利用者で作成し、廊下等に飾り、居室内にも写真を掲示することで居心地良く過ごせるよう配慮している。	利用者と一緒に、毎月大きなカレンダーを製作して掲示している。テレビ、ソファ、日めくり、温湿度計、利用者の作品を飾り、安心して過ごせる共用空間になっている。トイレや浴室も暖かく、綺麗に掃除されている。霧吹きなどを使い、湿度調節を工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間に関しては、広さはないが、自由に使用して頂けるよう、日頃からご利用者やご家族にお話している。また、居室にいる際は、無理に出て頂くような声は掛けないよう注意している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内の家具等に関しては、使い慣れた物を使用させて頂けるよう声を掛けている。また、自室内は、ご自身の塗り絵や作品、写真などを飾らせて頂き、居心地よく過ごせるよう、支援している。	居室の入口は表札と利用者の顔写真が飾られている。テレビ、ラジオ、椅子、加湿器、カレンダー、賞状、家族の写真を飾り自分好みの部屋になっている。家族と連絡できるように、携帯電話を置いている利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の状態に合わせ、職員は建物内の家具等の配置を話し合える時間を設けている。また、ご家族やご利用者にも意見を頂いたり、相談できる体制を整えている。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0171000227		
法人名	社会福祉法人 北叡会 あるての杜 グループホームひまわりの郷		
事業所名	グループホームひまわりの郷 (ぼかぼか)		
所在地	江別市上江別西町13-3		
自己評価作成日	平成29年3月3日	評価結果市町村受理日	平成29年4月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=0191000181-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

長年住み慣れた地域で、家庭的な雰囲気の中で、利用者が主体的に自己決定を行い、目的などを持って安全に暮らして頂けるよう支援に努めている。住宅地の中にあることから、地域の方々との繋がりを大切に行事に参加し又運営推進会議や施設行事に参加して頂くことで信頼関係を築けるよう努めている。医療面においては、提携医療機関との密な情報交換、定期検査に加え週一回の訪問看護実施することにより、体調不良時の相談や速やかな受診対応が出来る体制が整っている。日ごろよりミーティング、カンファレンスや研修を通して職員のスキル向上を行い、ご利用者やご家族、外部の方に満足して頂けるようと務めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ぽかぽか)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域環境において、家庭的な雰囲気の中でゆったりと穏やかな時間を大切にするという理念を掲げている。職員は、常に理念にそってご利用者に接するよう努めている。ミーティングやカンファレンスにて、個々のサービスの振り返りを行う時間を設けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の回覧板、資源回収については1階ぬくぬくにて集約し、実施をしている。運営推進会議やボランティアの受け入れを通して、地域の方にも参加して頂き、地域との交流を図っている。また、火災発生時等の際に地域の方にも協力依頼ができる体制を設けている。		
3	3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や面会時等を利用し、ご家族や地域の方々へ認知症への取り組みを報告しご意見を頂くよう努めており又、認知症への理解を深められるよう、利用者の状態、対応方法などをお伝えしている。年に一回、江別市のグループホームが共同で主催する、地域の方向けの「認知症講座」開催に携わることで認知症への理解や支援について啓発活動を行い、今年度も多くの方が参加されている。		
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はぬくぬくにて開催を行っている。その中で頂いた意見を基にミーティングの場で職員へ伝え検討を行い、サービスの向上につなげていけるよう努めている。また、運営推進会議開催日に避難訓練や行事等を行い、参加して頂くことで様子を知って頂けるよう努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ぬくぬくにて集約し取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行なわれていないが、外部、内部研修に参加し、身体拘束の定義を理解し、ミーティング内での勉強会を行い、職員全員で身体拘束につながっていく恐れはないかどうか、話し合っている。又、職員全員が気兼ねなく意見や疑問を言える環境を整えていく。		

グループホーム ひまわりの郷

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ぽかぽか)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部、内部研修の他、カンファレンス・ミーティング内において、虐待や不適切なケア(発言や行動)に繋がらない為の話し合いを設け理解を深めている。身体的な虐待は勿論の事、接遇や介助方法などの振り返り、検討を行い、虐待に繋がらないように心掛けている。		

グループホーム ひまわりの郷

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ぽかぽか)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部での研修に参加する機会はなかったが、制度をご利用されているご利用者様もあり、ミーティングにて権利擁護に関する勉強会を開催して理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結・解約時は十分な話し合いを行える時間を設けるよう心掛け、不安や疑問を解消できるように努めている。入居中に不明な点や、わからない事があった際には、その都度説明させて頂き、理解・納得して頂けるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、面会時や家族アンケートの実施を行い、家族の思い、意見をお聞きしている。寄せられた意見に対しては速やかに臨時のミーティングを開催し、検討させて頂く。又、自部署のみならず法人として対応を検討していく体制を整えている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員とのコミュニケーションを大切し、いつでも意見や質問ができるよう環境作りに努めている。又、ミーティング等を通して、職員から意見、提案を聞き、反映していけるよう努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員1人1人が、目標を持ち取り組んでいく為に、ストレスや不安を軽減できるよう、個別面談を定期的に行っている。また処遇改善や、子供のいる職員については個々の生活に合わせて勤形態の調整を柔軟に行い、職員へ反映することで仕事への意欲向上を図っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々のスキルに見合った外部研修の参加を勧めている。また、参加した研修内容については、ミーティングにて報告する事で職員全体におけるケアの質の向上に努めている。内部研修や法人の研修会に多くの職員が参加しやすい環境を整えスキル向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内グループホームとの交流会を通じて、意見交流や情報交換を行える機会を設けている。また、月に1回市内の各グループホームの管理者が集まる会に参加し、他施設への相談、情報交換の機会を設けサービス向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ぽかぽか)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に関係機関や他施設の情報を確認し、ご本人に出来るだけホームへお越し頂き、思いや要望を聞かせて頂くとともに十分なお説明により、安心して頂けるように努めている。また、入院の状態により、お越し頂けない場合は、こちらから面談に行かせて頂くことで、安心してグループホームでの生活が出来る様に支援を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談の時点から不安、要望や思い等をお聞きし安心して入居できるよう努めているが、入居後においてもご家族の利用に対する思いをお話して頂ける様、面談等にて働きかけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受ける時には、ご家族やご本人、関係機関からの情報を総合的に判断し、緊急性やサービスの必要性を見極めている。サービス利用の際、本人や家族の思いに考慮し、利用に対する気持ちのずれが生じないように確認している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は理念に基づき利用者本位を第一とし、ご本人の思いを大切に日常的な場面から、それぞれ得意なことや出来ることを行って頂けるように利用者の意見を大切に、共に生活することを念頭におき、ケアを行っている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話連絡時において、ご利用者の状況をご説明させて頂き、ご利用者の生活について一緒に考えて頂いている。また、誕生会の参加、外出や外泊ができるようお声を掛けさせて頂き、家族との絆を大切に出来る為の必要な支援を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	普段の暮らしの中において、楽しく過ごされた過去のお話しに合わせ接するように努めている。ご本人やご家族からの希望があった際には、外出等が行えるよう支援している。また、知人等が訪ねて来られた際には、ゆっくりと過ごして頂く事ができるよう、お茶やお菓子を出すなどして、ゆっくりできるよう、配慮している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	平均介護度が比較的低いことから日常的に利用者同士の会話があり又、活動等を通して職員が仲介をしながら利用者同士が関わり合えるよう努めている。同時に、ご利用者の能力や特技を生かしながら関わり合えるような支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ぽかぽか)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了が決まった時点より不安や心配事については、いつでも相談して頂けるようお声をおかけしたり、いつでも連絡して頂ける体制を整えている。また、関係機関との連携体制も整えている。医療機関等と連携を図りながら、今後のサービス利用についての相談に応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活履歴を把握した上で、ご本人との会話や表情等の中から希望や意見を汲みとれるように努めている。また、カンファレンスや日常の生活を通して職員間で情報を共有している。意思疎通が困難な方に関しては、ご家族から情報提供を頂き、その人らしい暮らしを行えるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人とのコミュニケーションから聞き取ったり、アセスメントを通してご家族から生活歴を聞く事や、年代別の生活歴の用紙を書いて頂き、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態を把握し、一人ひとりに合った活動や一日の過ごし方等について、ミーティング、カンファレンス等の場で話し合い、有意義な過ごし方をチームケアとして取り組んでいけるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の暮らしぶりや、ご利用者との関わりから要望を聞き出せるよう努め、ミーティングやカンファレンス等、話し合いを行い介護計画を作成している。また、意思疎通が困難な方に関しては、面会時にご家族にご意見やご要望を聞かせて頂き、介護計画へ反映している。状況に応じて、随時介護計画を見直し本人に合った支援を行うよう努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録にて、介護計画に基づいたケアプランの実施やその反応を記載し、職員間で情報の共有を図り今後のより良いケアへと繋げている。状況に応じて、ミーティングやカンファレンスを開催し介護計画の見直し、変更を行えるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者の心身状態に合わせた個別ケアについて、ミーティングやカンファレンス時において、話し合う時間を設け、柔軟に対応できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の交流やボランティアの方々の訪問など外部の方との交流を行うことや、個別外出などを行い、なじみの地域との繋がりを維持けられるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人の意向を尊重し、かかりつけ医の受診を継続できるよう努めている。また、協力医療機関には、日頃からご利用者の情報提供を行うことで適切な医療を受けることが出来ている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ぽかぽか)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の訪問看護師との連携、連絡体制が整っていることから、安定した健康管理が行えている。また、ご利用者の情報を密に伝え、適切な助言を頂いている。緊急時に備えた環境を整備している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に介護添書を作成し、入院先の医療機関と緊密な連携をとっている。入院中の状態確認を定期的に行い、状態把握に努め、病状説明の際は、ご家族と共に同席させて頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族には入所の事前説明の際に重度化に関する対応指針についての説明を行っており、理解して頂けるよう努めている。体調や状態に変化があった際には、ご家族へ連絡、説明を行い、医療機関と連携して対応している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時については、連絡体制を整えており、周知している。また、AEDの使用方法など含め緊急対応等の学習会を行い、全職員が急変時の対応を行えるように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中想定避難訓練は行っている。夜間想定訓練が感染症の発生により計画を実施できていないが、避難経路や連絡体制、災害時の対応方法等を全職員で確認している。また、地域の方にも参加して頂くようお願いを掛けて頂いている。今年度は地震からの火災発生避難訓練を実施した。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員同士声を掛け合い、ご利用者に対しての言葉遣いやマナー、声の大きさやトーンを注意し合えるよう努めている。また、接遇マナー研修を開催し、職員全員がご利用者それぞれの、その人らしい暮らしができるよう、支援している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	全職員が利用者本位の姿勢をとり、ご利用者の根本にある気持ちを聞き出せるよう努め、自己決定を優先している。また、意思決定が困難な方に関しても、出来る限り選択できるよう、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の行いたい事をその都度お聞きし、話し合いながら可能な限り、実現できるように努めている。また、一人ひとりのペースを守る事を理念として取り組んでいる。職員間で情報の共有を行うことで全職員がご利用者の希望に沿った支援を行えるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご持参された化粧品等に関しては、日常生活でできるように援助している。身だしなみについては、できるだけご本人に行って頂けるよう援助している。訪問理美容を利用し、その方の希望に沿った形での援助を行っている。		

グループホーム ひまわりの郷

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ぽかぽか)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る限り、ご利用者にも調理活動を行って頂けるよう支援している。誕生会の際には、ご本人の食べたい物、お好きな料理を出来る限り提供している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の作成したメニューが提供されており、栄養バランスは保たれている。肉禁、麺禁など要望に合わせ選択することが可能となっていることからご本人のお好きな食事メニューを提供できる環境となっている。食事量や水分量を記録することで利用者にあった栄養量、水分量の管理を行っている。必要であれば管理栄養士や医療機関と連携を行える体制を整えている。また、季節に合った果物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行って頂けるよう、声かけしている。出来る限りご本人に行って頂き、最終確認をさせて頂いている。義歯を使用している方は、夜間帯にできる限り漬け置き洗浄をさせて頂いている。口腔ケアを行うことにより誤嚥性肺炎の予防にも努めている。月に2回、訪問歯科を利用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	基本ケア(水分、運動、食事)を徹底することで、トイレでの排泄ができるよう支援している。又、可能な限り日中はおむつを使用せずトイレでの排泄ができるようすることでご利用者の人格の尊重とプライバシーの確保ができるよう努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量を確保できるよう支援すると共に、便秘傾向の方に関しては、歩行等の運動を行う機会を持てるよう支援することで出来るだけ下剤に頼らない基本ケア(水分、運動、食事)を展開している。また、日常的に乳製品やオリゴ糖などの排便を誘発するものを提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望に沿い、入浴表を作成しているが、その日の体調やご本人の希望により、曜日や時間帯の変更を行うなど、柔軟な対応に努めている。入浴が困難な場合には、清拭や足浴を行って頂き、身体の清潔を保つことに努めている。最低でも週2回の入浴ができるよう努める。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調やご希望に合わせて、休息時間を設けられるよう、対応している。また、夜間帯においては、居室の明るさや騒音、温度等にも配慮し、安眠できるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の内容や用法、用量、副作用が明記された用紙をファイルに綴じ、全職員が確認できるようにしている。また、状態が変化した際は、訪問看護師へ相談をし調整を行い、早期受診できるよう医療機関との連携に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	運動や歌という共通の要素を核とし、ご利用者ごとの生活歴(職歴・趣味など)を基に役割作りに努めている。		

グループホーム ひまわりの郷

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(ぽかぽか)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に合わせ、桜や紅葉等を見に行けるよう計画を立て、外出を支援している。また、希望時には買い物や散歩を行えるよう支援に努めている。運営推進会議においても、希望や助言を頂くよう努めている。また、個別外出の計画もあり、ご本人様・ご家族様のご希望に沿う行事も計画している。可能なご家族には、できる限り外出ができるよう、声を掛けさせて頂いている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	行事の際や買い物活動の際に関しては、ご家族やご本人の希望がある際は、お小遣いを所持できるよう環境を整え、使用していけるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望がある際は、ご家族にも確認のうえ、電話や手紙でのやりとりができるよう、支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	運営推進会議やアンケートなどでご家族からも意見を頂き、検討する様努めている。また、装飾に関しては、季節感のあるものをご利用者で作成し、廊下等に飾り、居室内にも写真を掲示することで居心地良く過ごせるよう配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間に関しては、広さはないが、自由に使用して頂けるよう、日頃からご利用者やご家族にお話している。また、居室にいる際は、無理に出て頂くような声は掛けないよう注意している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内の家具等に関しては、使い慣れた物を使用して頂けるよう声をかけている。また、自室内は、ご自身の塗り絵や作品、写真などを飾らせて頂き、居心地よく過ごせるよう、支援している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の状態に合わせ、職員は建物内の家具等の配置を話し合える時間を設けている。また、ご家族やご利用者にも意見を頂いたり、相談できる体制を整えている。		

目標達成計画

事業所名 社会福祉法人北観会 グループホームひまわりの郷

作成日：平成 29年 3月 31日

市町村受理日：平成 29年 4月 27日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	地域住民の参加を得ながら年2回の防災訓練が行えていない。又、訓練実施書類の整備が十分ではない。	年2回の防災訓練を確実にに行い、ご利用者の命を守る。 又、書類の整備を図る。	・防災訓練を運営推進会議などの日に行うことで地域住民の方にも参加して頂く。 ・江別市消防局参加の訓練を行い、実施結果を書類に記録として残していく。	12ヶ月
2	10	家族からの些細な意見や要望、職員の気付きなどを職員間で情報共有が十分ではない。	家族からの意見、要望、気付きを職員間で共有することでご家族様の意見を運営に反映する。	・ご家族様、意見、要望、職員の気付きをノートに記録していく。 ・日々、職員がノートを確認することで、情報の共有を行う。 ・運営推進会議にて、ご家族からの意見、要望に対する対応について報告を行う。	12ヶ月
3	26	生活記録に利用者の様子や変化の記録の反映が十分とはいえない。	生活記録からご利用者の様子などをより分かりやすく記録を行い、次のケアプランへと繋げ、ご利用者のより良い暮らしを援助する。	・生活記録の書式の見直しを行い、ご利用者の様子がわかる資料を整備作成する。 ・ミーティング等において、生活記録の意義、重要性の意義について説明を行い充実した記録の作成を行う。	12ヶ月
4	23	フェイスシートの活用が十分とはいえない。	・フェイスシートを活用することで、日々のご利用者との関わりを密接なものとなるよう繋げる。ケアプランへ反映を行いご利用者のより良い暮らしを援助する。	・日々、ご利用者の生活の中から趣味、嗜好等の変化に気付くことが出来るよう意識を高める。 ・職員同士情報の共有を図る為に、ノートに記録を行う。 ・フェイスシートの内容を更新することで次のケアプランへ反映し繋げていく。	12ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。